

社協だより

～ふれあい・たすけあい・ささえあい～

ふれまち

第152号

平成26年
9月16日発行

赤い羽根共同募金

井原を良くするピンバッジ♪



井原
限定
販売



できました♡

10月1日販売

New

ピンズ ¥500



井原市マスコットキャラクター
でんちゅうくん

ハローキティ

©1976,2014 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO.S552604



ピンバッジの販売収益は全額
赤い羽根共同募金へ募金されます

大人気キャラクターのでんちゅうくんとハローキティが赤い羽根ピンバッジになって登場!

このピンバッジの販売収益は「じぶんの町を良くするしくみ。」として井原市の地域福祉活動に役立てられます。ピンバッジは市内の様々な店舗と社協で販売を開始します。あなたもピンバッジを買うことで、身近にできる地域貢献をしませんか?ピンバッジの設置協力をしてくださる商店・飲食店も募集中!



Illustration by (羽信)

©Crypton Future Media, INK. www.piapro.net piapro

赤い羽根共同募金

初音ミクパネル展開催するよ!



10月15日(水) 13:00～ オープニングセレモニー

展示日時: 10月15日(水)・16日(木) 13:00～19:30

場所: アクティブライフ井原 1階ふれあいプラザ

内容: 初音ミクイラストパネル展示・初音ミクオリジナルグッズ販売など!!

遊びに
来てね!



この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。

ホームページアドレス: <http://www.fukushiokayama.or.jp/ibara/index.html>

メールアドレス: i-syakyo@ibara.ne.jp

発行者

〒715-0019 井原市井原町1110番地
社会福祉法人 井原市社会福祉協議会
電話(0866)②1484 FAX(0866)②1496
芳井支所 電話 ⑦1366 FAX ⑦1363
美星支所 電話 ⑧4141 FAX ⑧4170

井原のまちへ

平成25年度は井原市内の皆様から合計8,900,618円のあたたかい募金が寄せられました。
様々な地域福祉活動に使われます。今年も皆様のご協力、よろしくお願いします。



「いばらの未来を担う学生」への助成

赤い羽根 ボランティア協力校助成事業

・市内小・中・高等学校21校へ助成

総額1,050,000円

優しい心を育てるボランティア活動へ活用

- ・エコキャップ回収活動（興譲館高等学校）
- ・書き損じはがきキャンペーン（芳井中学校）
- ・全校生徒クリーン作戦（木之子小学校）等



木之子小学校



「いばらの地域福祉活動」への助成

赤い羽根共同募金 社協配分事業

総額4,473,000円

- ・共同募金推進事業
- ・井原市社会福祉大会の開催
- ・地域力パワーアップ講座の開催
- ・社協だより「ふれまち」年6回発行
- ・サロンリーダー研修会の開催
- ・「ありがとう!ボランティア交流会」の開催
- ・認知症サポーター養成講座の開催
- ・給食サービス事業（美星地区）



貸出用電動ベッドの購入



ボランティア交流会

1個500円!全額共同募金へ寄付されます!

赤い羽根共同募金 活動強化特別支援事業

総額600,000円

- ・トントン!と〜とバッグプロジェクト
- ・でんちゅうくん×キティ コラボピンバッジ

赤い羽根共同募金 特別配分

総額500,000円

- ・日常生活用具貸与事業：貸出用電動ベッドの購入



トントン!と〜とバッグ

「みんなで集まろう家あ赤羽根カフェ」オープン!

1杯のコーヒーから・・・みんなでふれあう楽しいおしゃべりタイムを過ごしませんか?!

日時 平成26年10月15日(水)～10月16日(木) 13:00～19:00

場所 アクティブライフ井原 1階ふれあいプラザ 初音ミクパネル展

日時 平成26年10月17日(金)～10月31日(金) 10:30～16:00

場所 井原市総合福祉センター 2階 和室 ※土・日・祝日を除く

※10月26日(日) 井原高校ふれ愛まつり&井原鬼まつりはオープンします♪

お気軽にお立ち寄りください。
お待ちしております!





平成26年度 赤い羽根共同募金のつかいみち

赤い羽根共同募金は、

今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まります！

皆さまからいただいた大切な募金は「井原の町を良くするしくみ。」として今年度、



「いばらの福祉活動団体」への助成

赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業 総額 700,000 円

- ・ 出部地区社会福祉協議会：福祉連絡員の活動啓発ジャンバーの購入
- ・ 県主地区社会福祉協議会：地域の高齢者と小学生のふれあい交流事業の実施
- ・ 荏原地区社会福祉協議会：見守り戸別訪問活動での統一ジャンバーの購入
- ・ 美山地区社会福祉協議会：三世代交流事業でのレクリエーション用品の購入
- ・ 堺地区社会福祉協議会：三世代交流事業でのレクリエーション用品の購入
- ・ 井原手話サークル：聴覚障がい者の防災啓発用ユニホームの購入や研修会への参加
- ・ 朗読ボランティア サークルあい：手織りの文化を児童や高齢者に伝承するための手織り機の購入



荏原地区社会福祉協議会
▲統一ジャンバーの購入



「いばらの福祉施設・福祉団体」への助成

赤い羽根共同募金 施設配分助成事業 総額 1,730,000 円

- ・ こだま園 芳井ふれあい作業所：利用者送迎用車両更新整備
- ・ 出部保育園：園児用ジャングルジム整備
- ・ 高屋南保育園：乳児室環境改善事業

赤い羽根 障がい者団体配分金事業 総額 317,000 円

- ・ 井原市内の障がい者団体へふれあい交流事業への助成
(岡山県身体障害者福祉連合会井原支部、井原はばたき作業所、太陽の会作業所、せいび夢空感、こだま園こころ与井、こだま園東江原ワーク、こだま園芳井ふれあい作業所)



▲利用者送迎用車両購入

赤い羽根 ボランティア団体・NPO 活動支援事業 総額 750,000 円

- ・ 井原はばたき会：利用者送迎用車両整備
- ・ 太陽の会：パソコン整備事業
- ・ 朗読ボランティア サークルあい：地産糸で染色を楽しむ集いのための手織り機購入

平成27年度 赤い羽根共同募金助成事業募集します！ 赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業

地域福祉の充実・強化を図るため、「ふれあい・たすけあい・ささえあいのまちづくり」に積極的に取り組もうとする団体等に必要な活動費を公募方式により助成します。ぜひご応募ください！

助成対象団体：住民のささえあい活動を行う住民組織・ボランティア団体等

助成金額：1団体10万円(平成27年度実施事業) ※7団体を限度とする

助成対象活動：ご近所福祉ネットワーク活動の充実・声かけ・見守り活動の充実、ふれあい・いきいきサロン活動充実、ボランティア活動充実、福祉マップづくり、その他事業効果が期待される地域福祉活動等の新たな取り組み 等



チャレンジ 2014 夏のボランティア体験

今年も夏のボランティア体験が行われ、高齢者施設、障がい者施設、保育園、病院等34施設で井原市内中・高等学校の生徒174名が参加しました。事前研修会ではボランティア活動についての心構え等を学び、事後研修会では活動で得られた成果等の振り返りを行いました。

夏のボランティア体験を通して、さまざまな学び、気づき、出会いがあり、貴重な体験になったと思います。



事前研修会・活動調整会議

長楽園
「夏祭り キャップつかみ」高屋南保育園
「みんなおいでよ 夏祭りごっこ」

この夏一番のステキな出会い！

芳井児童会館
「ぴちゃぴちゃ♪お水で遊ぼう」特別養護老人ホームみずき
「ドッグセラピー」

事後研修会・活動発表

第40回 井原夏まつり 「チーム轟」出場!!

地域型福祉学習事業の一環として、社協職員・ボランティア・興譲館高等学校野球部総勢96名が「チーム轟」として出場し、若さはじけるパワーで最優秀賞を受賞しました。

2代目でんちゅうくんの山車も登場！今年は赤い羽根と馬越恭平ゆかりのビールを持っています。

今後も連携して地域福祉推進活動を行っていききたいと思います。



チーム 轟

～活動受入施設の方々、

ご協力ありがとうございました～



荏原地区社協「ふれあい広場」

ぜひ来てみてください！各種出前講座もあります。

日時 毎月第1・3月曜日

場所 荏原公民館

食事 300円（地産地消）

コーヒー 50円（お代わり自由）

10月の出前講座 6日(月) 10:30～

「終活講座～エンディングノートの作成～」

《問い合わせ先》 荏原地区社会福祉協議会

笠原正広まで

送迎は、
前日までにお問い合わせ
ください！

☎090-4140-4982
E-mail: k212452@ibara.ne.jp





井原あゆみ園



幼児期からの児童発達支援事業を行っています

- * ひとり遊びが多い…
- * 話はできるのに言われていることが理解できず、
- * ことばでのやりとりがしにくい…
- * 同じことを繰り返してしまう…
- * みんなのなかで、じっと話を聞くことができにくい…

発達に支援が必要なお子様、一人ひとりの成長段階や特性に合わせた専門的療育を行います。

グループ療育



座ってお話を聞くことができるようになったよ。

個別療育



講演会・個別説明会



子どもの発達に関する講演会や個別の相談会も行いますよ。

いろいろな遊びや運動ができるようになったよ。

「第1回 井原ライオンズクラブとのおたのしみ交流会」をしました♪



初めての交流 楽しかったです(^o^) ありがとうございました!

★当園のパフレットは、保健センター、市内幼稚園や保育園、児童会館等の子育て支援関連施設、小児科のある市内病院・医院などにも設置しています。見学、体験も随時受け付けています。

《問い合わせ先》 電話：(0866) 62-1484 (井原市社会福祉協議会 井原あゆみ園)

ホームページ：検索「井原市社会福祉協議会」⇒「子どもの支援情報」

<http://www.fukushiokayama.or.jp/ibara/index.html>

ふれあい福祉相談センター

秘密厳守／相談無料 問い合わせ、予約は 井原市総合福祉センター ☎ 62-1484

相談内容	日 時	内 容
ふれあい福祉相談	月～金曜日 8:30～17:00	日常生活上の心配ごと・悩みごとなどのあらゆる相談
法律相談	9/16(火) 13:00～16:00 10/7(火) 13:00～16:00 10/21(火) 13:00～16:00 11/4(火) 13:00～16:00 【井原市総合福祉センター】 11/18(火) 10:00～15:00 【芳井生涯学習センター】	法律上の難しい問題の相談(財産・相続・金銭貸借・境界等)1件30分以内で事前に予約必要 予約先:井原市社会福祉協議会
療育相談	月～金曜日 8:30～17:00	就学前の子どもたちに関する心配や悩みごとの相談
介護相談		家庭介護や各種サービスに関する相談
結婚相談	10/10(金)・11/14(金) 13:30～15:30	結婚に関する相談
行政相談	9/25(木)・10/9(木)・10/23(木) 11/13(木) 10:00～12:00 【井原市総合福祉センター】	行政全般に関わる相談(道路・住宅・公害)
	9/18(木)・10/16(木) 9:00～11:00 【芳井老人福祉センター】	問い合わせ先 協働推進課 市民活動係 ☎ 62-9508
	9/16(火)・10/21(火) 10:00～12:00 【美星農村環境改善センター】	

「とまとさん家」7周年記念事業「ベコロスの母に会いに行く」上映ご案内
日 時 10月12日(日) 開場9:30 開演9:45
会 場 アクティブライブ井原 メルヘンホール 前売券 1,000円
前売券販売所 はっぴいひろばとまとさん家、つどえ〜、井原公民館、いばらサンサン交流館
《問い合わせ先》NPO法人 はっぴいひろばとまとさん家映画実行委員会 (0866) 63-1200

ありがとうございました 井原市社会福祉協議会

平成26年6月16日〜平成26年8月15日(敬称略)

◆香典返し・満中陰志

亡母 井原町 竹本万貴子
亡母 大江町 熊谷光紘
亡母 岩倉町 上野清治
亡母 西江原町 青木眞義
亡父 木之子町 岡田茂喜
亡父 木之子町 北田能布子
亡父 井原町 三宅寿恵
亡母 大江町 坂本廣志
亡父 大江町 橋本修二
亡母 門田町 藤井良昭
亡夫 西方町 佐藤悦子

亡父 木之子町 佐藤和樹
亡父 大江町 田邊義博
亡母 西江原町 定光隆義
亡母 木之子町 後藤篤
亡母 青野町 三宅文雄
亡妻 久米南町 小西俊徳
亡母 木之子町 平道行
亡父 高屋町 高木誠三
亡母 西江原町 落合清三
亡妻 大江町 高橋良治
亡父 門田町 鳥越弘啓
亡母 上出部町 志奥浩二

亡父 井原町 佐藤高司
亡父 高屋町 小田原新一
亡父 木之子町 笠行眞太郎
亡父 東江原町 片山義弘
亡父 上出部町 石井博文
亡妻 井原町 柚木岑之
亡父 井原町 岩崎清
亡母 西江原町 森下弘
亡母 芳井町西三原 森原重信
亡父 芳井町花滝 佐与子
亡母 芳井町吉井 佐藤和夫
亡妻 芳井町花滝 橋本敏子
亡母 芳井町西三原 渡邊辰治
亡父 芳井町井山 大山芳孝
亡父 芳井町片塚 水野晋太郎

◆病氣見舞い返しにかえて

美星町星田 原田富夫
美星町星田 吉實タキコ
美星町星田 妹尾アヤコ
美星町大倉 川上昭子
美星町星田 川上愛子

◆福祉器具借用のお礼として

芳井町吉井 大杉満雄
芳井町吉井 藤井実
芳井町吉井 妹尾弘子
美星町黒忠 矢敷勇
野上町 藤原正己



「庭に鳩が来ると。」

父が何度も言うので半信半疑で庭を見ると、本当に山鳩が木犀の木に巣を作り卵を温めていた。その日から家族揃って父の部屋から山鳩の子育てを見守ること

が我が家の日課となった。山鳩は幸せを運ぶと聞いたことがある。辛いことが続く我が家にも幸せは来るのだろうか。山鳩の子育ては淡々と続いた。やがて、小さな頭が二つ巣から覗くようになると、親鳥は食欲旺盛な子に毎日せっせと餌をやる。雛は日に日に大きくなり、巣が窮屈そうになってきた。

ある朝、まだ産毛の残る二羽の鳩が巣から出て木の葉の間から外の世界をじっと見ている。少し離れたところに親鳥の姿も見える。その時、パサッ。小さな羽音を立てて二羽が飛び立った。続いてもう一羽も。巣立ちの瞬間だった。

あれから一ヶ月、鳩たちは時折姿を見せるだけになった。今思うと、私たちは悲しみをひととき忘れ、わくわくしながら雛の育つ様子を見ていた気がする。今でも鳩のことを話す家族の顔は笑顔だ。これが、山鳩が運んでくれた小さな幸せなのかも知れない。

